

平成 19 年 2 月 28 日

和光市長 野木 実 様

和光市男女共同参画推進審議会会長 諸橋 泰樹

平成 18 年度和光市男女共同参画推進審議会報告について

平成 18 年度和光市男女共同参画推進審議会において審議した結果について、下記のとおり報告いたします。

つきましては、平成 19 年度施策の推進に当たっては、本審議内容及び意見を反映し、より一層、男女共同参画施策の推進を図られますようお願いいたします。

記

- 1 平成 18 年度和光市男女共同参画推進審議会
  - (1) 第 1 回 平成 18 年 10 月 13 日(金) 午後 2 時から 4 時
  - (2) 第 2 回 平成 18 年 12 月 15 日(金) 午前 10 時から正午
  - (3) 第 3 回 平成 19 年 2 月 16 日(金) 午前 10 時から正午
- 2 委員名簿  
別紙 1 のとおり
- 3 審議内容及び意見  
別紙 2 のとおり
- 4 資料
  - ・和光市男女共同参画年次報告書(平成 17 年度版)
  - ・平成 18 年度男女共同参画わこうプラン施策評価調査票



|                                |
|--------------------------------|
| 平成 18 年度和光市男女共同参画推進審議会審議内容及び意見 |
|--------------------------------|

## 1 平成 17 年度男女共同参画わこうプラン施策評価調査結果について

## (1) 評価 4 を選択している課等について

平成 16 年度において評価 4 を選択し、平成 17 年度においても評価 4 を選択している課がある。今回、改善が見られなかった課においては、改善できるよう努力してほしい。

例えば、公民館の施策に対するコメントでは、他課と検討していきたいというものが多。男女共に利用する施設として、他課との検討のみならず、独自にまた積極的に男女共同参画に関連する施策を進めてほしい。

また、地域振興課においても、「極めて重要であると認識しているが、特に行っていない」というコメントが多い。重要と認めているのに、施策を実施していないのは、非常に残念である。もっときめ細かな施策を進めてほしい。

## (2) 評価 3、4 が多かった主要目標「リプロダクティブ・ヘルス・ライツ等に関する理念普及」や「生命を育む環境を大切に」、「男女が共に家庭と仕事が両立できるために」に関連する施策を実施する課等について

これら主要目標に掲げられる施策を率先して実施する、保健センターや子ども福祉課、その他関連課等においては、平成 19 年度における実施施策について、さらに評価が高まるよう十分に配慮してほしい。

## (3) フォーラム・講座の開催について

フォーラム・講座に人が集まらない傾向にあっても、男女共同参画・男女平等には、啓発が一番必要である。そのため、フォーラムや講座など地道な啓発活動については、ニーズやライフスタイルを把握した上で内容を工夫し、継続的に実施していく必要がある。たとえ、テーマに「男女共同参画」と大きくうたわなくても、たくさんの事柄が男女共同参画に関連しているため、男女平等・男女共同参画の視点を入れて、楽しみながら知らず知らずのうちに意識を根付かせるような魅力ある企画を行ってほしい。

また、開催においては、和光市男女共同参画庁内連絡会議の場を活用し、フォーラム・講座等開催する課等において、内容や実施時期、場所、周知等についてより連携を深め、効率的な施策の実施を図ってほしい。

## (4) 職員の意識、スタンスについて

調査票をみると、全体的に職員の男女共同参画意識が不足し、スタンスが揺らいでいるように見受けられる。職員全体の意識が高まることにより、施策効果も高まっていくため、全職員の意識啓発を継続的に実施し、各職員がダイナミックかつ総合的に施策を進められるよう体制を整備してほしい。

## 2 平成 18 年度男女共同参画わこうプラン【改訂版】施策評価調査票案について 別紙 3 のとおり

### (1) 施策の内容の具体化について

平成 17 年度版は、何の施策でどういったことをしていたのかなど、調査結果から具体的な内容が見えてこない。今後、施策達成を図るために、何をどんな風を実施していくのかを評価調査票に記入し、施策の内容を明確にわかるようにする必要がある。

### (2) 評価 3 を選択した理由について

平成 17 年度版は、評価 4 を選択した理由のみ記載することとなっている。評価 1・2 に比べ、評価 3・4 は、施策が取り組めなかった結果となるため、評価 4 のみならず、評価 3 についても、なぜ実施できなかったのかなど、理由を書けるスペースを設ける必要がある。

### (3) 各課等とのヒアリングについて

平成 18 年度の調査を実施するに当たっては、統括課である人権文化課と各課等とのヒアリングを実施し、男女共同参画わこうプラン【改訂版】で高めに設定した指標の数値を達成できるよう努力し、検討を進める必要がある。

また、各審議会等の女性委員の比率は現時点で立派な数値に達している。他市町村に比べても立派な数値なので、和光市が目標に向かって努力しているのがわかる。